

# 看護 青い森

vol.  
**115**  
発行日  
2023. 7. 18

ナースセンターだより

## INDEX

- 会長あいさつ
- 推薦委員会からのお知らせ
- 令和5年度青森県看護協会通常総会開催報告
- あり方検討会シンポジウムとサエラミニライブ
- 看護の日・看護週間
- 青森県訪問看護総合支援センター開所
- 事業課から研修等開催のお知らせ
- 教育研修課から
- 職能委員会コーナー
- 支部だより
- ナースセンターだより
- 受章者の紹介

令和5年度  
会員数 8,393人  
(昨年7月比 +36人)  
(令和5年7月1日現在)

保健師 209人  
昨年7月比 -15人

助産師 320人  
昨年7月比 +2人

看護師 7,563人  
昨年7月比 +64人

准看護師 301人  
昨年7月比 -15人



# 令和5年度 青森県看護協会通常総会を終えて

公益社団法人青森県看護協会 会長 梶谷京子

今年度の青森県看護協会通常総会は、3年ぶりに新型コロナウイルス対策等の制限のない通常形態での開催とし、6月17日(土)に無事終了することが出来ました。会員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

例年、総会後の午後の部は特別講演等を開催していましたが、今年度は新たな取り組みを2部構成で行いました。

第1部は「これからの看護への期待」と題し、医師・首長・学識経験者の3名にご登壇いただきシンポジウムを開催。シンポジウムの皆様には具体的で貴重なご示唆を頂きました。

シンポジウムの中では、2040年を見据え、本会の活動のあり方について検討を重ねてきた「令和4年度青森県看護協会活動のあり方検討会」の報告をさせていただきました。あわせて、成果物である「青森県看護協会活動のあり方」リーフレットを公表し、来場者の皆様に配付いたしました。リーフレットは会員様所属施設あてにお届けしますので、ご覧頂きご意見等お寄せ頂ければ幸甚に存じます。

第2部ではサエラによるミニライブを開催しました。3年に及ぶコロナ禍を振り返ったとき、少しでも癒しにつながり、次の活力になることを願い企画したものです。本会でのライブは初の試みでしたが、特別な時間を感じていただけたのではないのでしょうか。

この3年間、社会の変化が早く看護職を取り巻く環境も大きく変わりました。しかし、コロナ禍のなかで、生活を重視した看護の本質と、看護職の役割について普遍的なことを改めて確認することが出来たのも事実です。

今回のコロナ禍で多くの課題が顕在化しましたが、何より看護職の確保と定着、そして役割拡大、働き方改革、処遇改善、危機管理など多くの事が待ったなしの状況です。私達は果敢に諸問題に対応してきたように、今を好機と捉えて、会員の皆様とともに一歩ずつ取り組みを推進して参りたいと思います。



## 推薦委員会からのお知らせ

令和6年度改選役員の推薦候補者を募集します。  
令和5年9月30日(土)までに、推薦委員長まで届け出てください。

### 改選役員名と人数

定款細則第6条に基づいて令和6年度の役員を次のとおり改選します。

#### 【役員】

- |                      |      |
|----------------------|------|
| (1) 会長               | 定数1人 |
| (2) 理事(助産師職能)        | 定数1人 |
| (3) 理事(看護師職能Ⅰ)       | 定数1人 |
| (4) 地区理事(東青・中弘南県・下北) | 定数3人 |
| (5) 監事               | 定数1人 |

### 推薦基準

- (1) 青森県看護協会の目的に沿って組織を強化発展させるよう実践できる人
  - (2) 本会の実情をよく知り、定められた会議に出席し、積極的に任務を遂行できる人
- ※推薦していただいた方々については推薦委員会で協議の上、候補者として推薦させていただきます。

### 推薦方法

推薦を行う場合は、被推薦者の承諾を得てから、所定の用紙に記入の上、推薦委員長に届け出てください。

※届出用紙は総務課へお問い合わせください。

### 届出先

〒030-0822  
青森市中央三丁目20-30  
県民福祉プラザ3階  
公益社団法人青森県看護協会  
推薦委員会 委員長 宛(親展)

### 問い合わせ

青森県看護協会 総務課  
電話：017-723-2857

# 令和5年度 青森県看護協会通常総会開催報告

令和5年6月17日にリンクモア平安閣市民ホールで、令和5年度青森県看護協会通常総会が開催されました。令和5年5月8日より、新型コロナウイルスが5類感染症に分類されたことにより、今年度は制限等を撤廃し、通常開催されました。

開催にあたり、令和4年度ご逝去された会員の方々へ黙祷が捧げられました。

榎谷会長は挨拶で「看護職団体の役割」、「令和4年度の事業運営」「これからの看護職の確保と定着についての意気込み」についてお話をされました。また、三村前県知事、中路青森県医師会副会長から、日々の看護活動に対する温かい労いのご祝辞を頂きました。

通常総会では参加者6,650名（当日出席者186名、委任者6,464名）の総会成立宣言の後、若木茂子氏の青森県看護協会名誉会員の推薦の他、全議案が可決となりました。

青森県看護協会会長表彰13名の方々を紹介され、受賞者を代表して小野寺江利子氏が「看護師職能委員会Ⅱで活動したことが、看護の教育の場でいかされた。今後も一協会員として、協会の活動に努めていきたい。」と挨拶をされました。また、日本看護協会会長表彰者の芳谷輝子氏、青森県看護功労者知事表彰20名の方々も紹介されました。

記：広報出版委員(弘前記念病院) 太田 花世



壇上の役員一同



式典あいさつ



三村前県知事からの最後の熱い想い



新旧役員一同で



たくさんのメッセージをいただきました



総会終了後、今年度新たな取り組みとして、青森県看護協会活動の方向性シンポジウムとミニライブが開催されました。

## 【第1部】あり方検討会シンポジウム

最初に榎谷会長より、2040年を見据えた青森県看護協会としての活動の方向性についてお話がありました。

続いて中泊町長 濱舘豊光氏がともに支えあう町づくりについてお話しされました。住民の暮らしを支えるためには、看護の力が必要とされており、ぜひ多様な場で役割を発揮してほしいとのお言葉をいただきました。

次に青森県医師会常任理事 淀野啓氏は、ご自身がIVRの専門であったため、専門領域を活かした治療を広めるために看護師や放射線技師を指導し、現在はみんなに支えられているとお話しされました。

最後に弘前大学名誉教授 工藤せい子氏が「これからの看護への期待」というテーマで、看護倫理の基本となるケアリングやチーム医療で看護職が果たす役割の重要性について分かりやすく説明をしてくださいました。

アンケートの結果では、「地域共生について考えていかなければいけないと思った」「青森県における医療・看護のあり方について考える機会になった」等、参加者のうち8割以上の方から「有意義だった」との回答をいただきました。



作成したリーフレット



中泊町長 濱舘豊光氏



青森県医師会常任理事  
淀野 啓氏



弘前大学名誉教授  
工藤せい子氏

## 【第2部】サエラミニライブ

青森県五所川原市出身の女性デュオ サエラがミニライブを行いました。

会場全体にピアノと歌声が響きわたり、心に響きました。また、ピアノの音色に合わせ「兄の手紙」を朗読いただいた時は、情景が映し出され、感極まり涙している方々もいらっしゃいました。50分という時間ではありましたが、懐かしい歌やサエラのポップな歌などアンコールを含め10曲を披露してください、とても楽しい時間を過ごすことができました。

県内でもコンサートを行ったり、ラジオも放送されていますので、参加できなかった方はぜひコンサートに行ったり、ラジオをお聞きになってみてください。

参加者からは「澄んだ歌声で心が洗われるようだった」「ライブの間、何度も涙が出た」「ラジオでいつも聞いている声を生で聞くことができ嬉しかった」「高齢者施設に入所している母にも聞かせてあげたいと思った」等々、様々な感想をいただきました。

記：広報出版委員 弘前記念病院 太田 花世



## 受賞おめでとうございます

令和5年度青森県看護協会  
名誉会員となって

若木 茂子

看護協会の会員であり続けられているのは、看護協会であることがブランドでありステータスであると感じているからです。会員であり続けることは会員皆様あってのことであり、この度、名誉会員にご推薦いただいたことについても深く感謝しております。この場をお借りして会員の皆様にお礼を申し上げます。



令和5年度青森県看護協会会長  
表彰を受賞して

代表 小野寺 江利子

この度は、青森県看護協会会長表彰を頂き大変光栄です。私は2013年の看護師職能委員会Ⅱ設立時に委員長を務め貴重な経験をさせていただきました。活動に際しても県協会から多くの支援をいただき感謝しております。今後も一会員として、協会の活動に参加して参ります。



令和5年度日本看護協会会長  
表彰を受賞して

芳谷 輝子

この度の受賞は、今まで支援して頂いた皆様のお陰と心から感謝申し上げます。いつの時代でも看護の現場での苦労は絶えません。そのため、看護協会の活動は益々重要と考えます。今後も一会員として活動していきます。



名誉会員証書授与式



協会会長表彰代表謝辞  
小野寺江利子氏



日本看護協会会長花束贈呈

- ◆名誉会員 若木 茂子氏
- ◆青森県看護協会会長表彰受賞者
 

松山 秀子氏	舘田有佳子氏
加賀谷智美氏	坂野利智子氏
白濱 里美氏	高林 良子氏
松田 悦子氏	加賀 靖子氏
西川 健氏	高松 都子氏
小野寺江利子氏	小倉 朱美氏
渡辺 孝子氏	
- ◆日本看護協会会長表彰受賞者  
芳谷 輝子氏



総会にご出席された受賞者の皆様

前列右から：若木氏、芳谷氏、小野寺氏、舘田氏、加賀谷氏、坂野氏、白濱氏  
後列右から：高林氏、松田氏、加賀氏、高松氏、小倉氏、渡辺氏、西川氏

## 職能集会

サエラミニライブの感動の余韻の後、各職能ごとに会場を別にし、職能集会を開催しました。短い時間でしたが、各職能委員会での令和4年度活動の報告を行いました。



保健師職能



助産師職能



看護師職能 I



看護師職能 II



## 5月7日～13日は『看護週間』です。

2023年度のテーマは『いのちをまもるプロとして。』

### ！ 看護の出張教室

令和5年5月8日(月)青森市の幼保連携型認定こども園浦町保育園2階ホールで、園児たちを対象に『看護の出張教室』が開催されました。看護職の魅力を伝える絵本『だれでもみんなかんごさん』が朗読され、園に寄贈されました。

看護体験として、①車いすに乗ってみよう②白衣を着てみよう③聴診器で心臓の音を聞いてみよう④手洗いチェックしてみよう⑤注射器を触ってみようの5つの体験を4グループに分け行いました。

初めて体験した子供たちは「楽しかった」「たくさん注射器で吸えた」「注射怖い」「ピカピカになった」「手が真っ白だった」「おうちに帰っても手を洗う」「お医者さんみたいでかっこいい」「(聴診器を使用し)シューシュー音がした」など元気に思いを伝えてくれました。

また、『かんごちゃん』も登場しハイタッチを行うなど、場を盛り上げていました。

最後に記念撮影を行い、看護師さんになりたいかと問われると、「はいー!」と大きな声と共にたくさんの子供の手が上がっていました。

記：広報出版委員 阿保・千葉



翌5月9日(火)の県内TVニュースでも放送されました!



## よしの整形外科(八戸市)

全国に先がけ、今年で  
7回目の「こども看護体験」



5月13日(土)、4年ぶりに開催となった「こども看護体験」は近隣の小学4～6年生11名が参加しました。

ギプス固定とギプスカット、傷の消毒介助・包帯巻き、松葉杖の使い方と車椅子の介助を参加者全員で交替しながら体験しました。

「包帯はきつくはないですか?」と患者さん役の保護者へ優しく声をかける姿は、小さくても立派な看護師です。

「子供のころから『大きくなったら何になりたい?』と聞かれることが多いのですが、何もわからず判断材料

がなくては決められません。色々な体験を通して、少しでも看護や医療の仕事に興味を持ってもらい、将来の職業選択の一助になるよう、このような触れ合う機会を設け、子供たちを応援したい。」と語るのは、保健師でもある吉野裕子副院長。自らも子を持つ親として、働く医療従事者として、今回のこども看護体験では、子供たちの楽しそうに体験する姿を温かく見守っていました。

記：広報出版委員

(メディカルコート八戸西病院) 小菅 仁子



## 在宅医療的ケア児 支援普及啓発シンポジウム

看護協会は令和2年度から  
「医療的ケア児」に係る事業を  
実施しています。

令和5年6月9日(金)に県民福祉プラザ4階県民ホールで在宅医療的ケア児支援普及啓発シンポジウムが開催されました。

令和3年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され、青森県においては青森県立中央病院に小児在宅支援センターが県からの委託を受けて開設され、支援を行っています。

シンポジウムでは、淑徳大学の谷口氏から「医ケアに見出す専門職としてのやりがい」について、リモートで講演して頂きました。笑いもあり、時には感動的なお話もして下さいました。その中でも特に心に残ったのは、医ケア児の母親がなかなか心を開かずただケアを見つめるだけだった日々が続き、心を開くまでじっと待っていたというエピソードでした。心を開けなかったのは医療に対する不信感があったためでした。しかし、心を開き始めると、どんどん自分や子供に対する思いが溢れていき、子供への支援を受けることで、母親が自分らしい時間を作ることができている事例を聞き、看護職の果たす役割はとても大きいと感じました。



谷口氏にはリモートでご講演いただきました

医ケア児は全国に2万人、県内では約160人いるとされています。これから、ますます医ケア児の支援が必要とされます。私たちもまず知るという事から理解を深め、医ケア児とその家族の支援力になれるように協力していく必要があると感じました。

記：広報出版委員(弘前記念病院) 太田 花世



# 青森県訪問看護総合支援センターが開所しました

この度、青森県から委託を受け、青森県訪問看護総合支援センター（以下、センター）を令和5年5月1日に開所しました。センターでは、県内の訪問看護に関する課題を一元的・総合的に捉え解決に向けて様々な事業を行っていきます。

まずは課題を捉えるために、訪問看護師を対象とした相談事業を行い、困り事の収集と相談支援を行っています。今後は、訪問看護師就業状況等調査を実施し、就業に関する課題の把握に努めていきます。

次に、本県では従業員数5人以下の小規模のステーションが多く、急な休職や退職により事業継続が困難になるリスクが高いと言えます。そこで、経営者や管理者を対象に、経営に関する基礎知識、人材確保と育成、不測の事態に備えた財務基盤づくり等、経営上の課題解決能力を高めるための「訪問看護管理者研修会」を開催します。さらに、訪問看護師のスキルアップと県内の訪問看護の質の均てん化を目指して「訪問看護質向上研修会」として、今年度は「エコーを活用した排泄ケア」の研修を企画しています。

訪問看護師の人材確保と養成については、「訪問看護体験型研修」を行い、利用者の生活の場で行う看護の魅力に触れることで、潜在看護師等の就業

を促進していきます。また、「青森県新卒・新人訪問看護師教育プログラム」の周知ならびに地域ぐるみでの教育を推進するための環境調整を行います。

最後に、病院看護師を対象とした訪問看護ステーションへの出向支援事業を企画しています。病院看護師が訪問看護ステーションに出向することによって、退院後の利用者の生活、訪問看護実践、多職種連携の実際を知って、地域包括ケアの視点を持った退院調整力の向上が期待されます。出向支援事業の準備が整いましたら、事業開催案内を各病院へお知らせします。是非ともご参加いただけますと幸いです。引き続きセンターをよろしくお願いいたします。

記：青森県訪問看護総合支援センター長 其田貴美枝



開所式にて（写真左から：泉谷健康福祉部医療業務課長、枉谷会長、其田青森県訪問看護総合支援センター長）



## 事業課から研修等開催のお知らせ

青森県助産師活用推進事業  
を活用しています

### ◆周産期医療に関する研修会等

#### 助産師のための超音波検査技術研修

県内の助産師外来や院内助産の推進に向けて、スキルアップしませんか？

**とき** 令和5年8月19日(土) 13:00～16:00

**ところ** アートホテル青森

申込期間

7月1日～8月9日

#### 新人助産師の人材育成に関するシンポジウム

昨年度実施した新人助産師の人材育成に係る実態調査をふまえ、新人助産師を育成するにあたり課題や対応策、改善策等について意見交換しませんか？

**とき** 令和5年9月16日(土) 13:00～16:00

**ところ** ホテル青森

申込期間

8月1日～8月20日



## ◆医療的ケアに関する研修会等

### 医療的ケア技術研修（看護職対象）

保育所等での医療的ケア児受入れを広めるための技術研修を行います。

**とき** 令和5年8月28日(月) 10:00～15:30

**ところ** リンクステーションホール青森5階 大会議室



### 在宅医療的ケア児支援スキルアップ研修

医療的ケア児に関わる中での困りごとや解決方法等を共有する場として研修会を開催します。

**とき** 令和5年9月13日(水) 10:00～15:00

**ところ** リンクステーションホール青森4階 中会議室

**内容** 講義・グループワーク



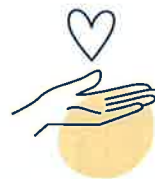
### 医療的ケア児保育普及啓発フォーラム

医療的ケア児が保育所から学校に進むにあたり、行政との関りについて一緒に考えてみませんか？

**とき** 令和5年10月24日(火) 13:00～16:30

**ところ** 県民福祉プラザ4階 県民ホール

**内容** 講義・事例発表等



## ◆その他研修会等

### 看護職の働き方改革推進フォーラム

看護職が働き続けられる環境づくりを推進するために、情報共有しませんか？

**とき** 令和5年10月27日(金) 13:00～15:00

**ところ** 県民福祉プラザ 県民ホール

申込期間

9月1日～10月6日

※看護業務効率化に関する報告会も開催予定

### 令和5年度災害支援ナースフォローアップ研修会開催

毎年実施している災害支援ナースのフォローアップ研修会を開催します。

**とき** 令和5年11月1日(水)

**ところ** 県民福祉プラザ4階 大・中研修室

**内容** 『災害時における小児の特性と支援について』

小児看護専門看護師より、新たな災害支援ナースについて情報提供等を予定しています。



●上記研修等は  
研修申込みサイト“manaable”  
からお手続きください

研修一覧検索 &  
研修申込みサイト

manaable





## 教育研修課

下記の研修日程が決まりましたのでお知らせします。  
詳細は「manaable」に随時掲載

### 研修No.4

★クロックミップレベルⅢ対象研修 新生児蘇生法Aコース(専門コース)

開催日：令和5年11月3日(金・祝) 開催場所：県民福祉プラザ 申込期間：9/20～10/10

### 研修No.61

青森県看護職員認知症対応力向上研修

申込：7月中旬を予定

開催日：令和5年9月28日(木)～30日(土) 3日間 開催場所：県民福祉プラザ

### 研修No.62

介護施設で働く看護・介護職のための感染管理スキルアップセミナー(全3回) 申込受付中

開催日：【1回目】令和5年8月24日(木) 【2回目】9月19日(火) 【3回目】11月14日(火)

### 研修No.64

介護施設のための看護力推進研修

申込：8月上旬を予定

開催日：令和5年9月23日(土・祝)、10月31日(火) 開催場所：県民福祉プラザ

### トピックス

I 危機管理における看護マネジメント能力向上研修  
～リスクマネジメントを中心に～

申込：9月上旬を予定

開催日：令和5年10月30日(月) 13:00～15:00 開催場所：県民福祉プラザ

研修申込サイトmanaableを4月から本格的にスタートしました。会員の皆様には慣れない操作でお手数をおかけしたと思います。

皆様からいただいたお問い合わせは、manaableのQ&Aとして看護協会ホームページに掲載し、内容を随時更新しておりますので是非、操作の参考にしてください。

## 認定看護管理者教育課程

ファーストレベルが5月から91名の受講者で開講し、長かった研修も、7月14日で無事に閉講いたしました。まだ、レポートの提出などがありますが、ひとまず受講者の皆様、お疲れさまでした。

間髪入れず、セカンドレベルが7月24日から開講します。受講者は40名。

閉講する10月まで、教育研修課一同全力でサポートいたします。



【公開講義一覧】 また、セカンドレベルの公開講義を下記の日程で実施します。この機会に是非受講してみませんか。

日時	時間	テーマ・講師	会場	申込期間
令和5年 9月8日(金)	9:30～16:30 6時間	資源管理Ⅱ 「適切な療養環境の整備」 質管理Ⅱ 「施設環境から考えるケアの質向上」 工学院大学建築学部 教授 寛 淳夫	県民福祉プラザ 4階県民ホール	8月1日 } 8月20日
令和5年 9月9日(土)	9:30～16:30 6時間 ※公開講義は 午前のみ	組織管理論Ⅱ 「看護管理における倫理」 滋賀県立総合病院 院長補佐兼看護部長 西村 路子	県民福祉プラザ 4階大・中研修室	8月1日 } 8月20日
令和5年 9月20日(水)	9:30～16:30 6時間	人材管理Ⅱ ハラスメント予防策と対応 「メンタルヘルスと復職支援・ 復帰プログラムなど」 福原智子労働衛生コンサルタント事務所 所長 福原 智子	県民福祉プラザ 4階県民ホール	8月1日 } 8月20日



# 職能委員会コーナー

保健師職能委員会では、保健師の連携強化・ネットワークの構築を図り、保健師が専門性を発揮するための基盤強化の推進に向けて取組み、活動領域における保健師活動の活性化を図ることを目的に活動しています。

今年度は、保健師活動の活性化を図るための体制整備として、これまで県内全域を対象として実施してきた4職能合同による看護職の連携のための交流会をより実効性のあるものとするため、西北五地区をモデル地域とした圏域内交流会を10月21日に開催します。当日は済生会横浜市東部病院 病院長補佐 熊谷雅美氏をお迎えする予定です。ちなみにこちらの交流会は西北五支部との合同企画となっております。

また、保健師の資質向上と情報交換のための交流会を9月11日に開催します。こちらは参議院議員の友納理緒氏（保健師・看護師・弁護士）を講師に招き、「情報開示請求に耐えられる記録の書き方（仮）」をテーマに講演を行っていたく予定です。

是非、ご参加いただき保健師活動の活性化を図りましょう！

是非、ご参加いただき保健師活動の活性化を図りましょう！



## 保 看 助 看II

皆さんこんにちは。助産師職能委員会です。令和5年度の事業についてご紹介したいと思います。まず7月8日、ホテル青森で神戸大学大学院教授 齋藤いずみ先生による産科混合病棟における助産師のケアのあり方と教育の研修があります。そして8月19日には、助産師外来で役立つ超音波の技術を検査技師さんが実技指導して下さいます。9月2日には、産後ケア事業交流会があり実績のある東北公済病院の高橋師長さんが産後ケアの運用についてご講演して下さいます。どの企画も大変興味深いものとなっております。皆様と会場で会えることを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。



看護師職能委員会 I は、地域包括ケアにおける看護提供体制の推進と地域住民の生活を支えるための看護連携の推進を目的に活動しています。

外来看護師の在宅療養支援に関する実態調査から、事例検討会を重ね病院と在宅療養を繋ぐために外来看護師の役割の重要性を再確認しました。今年度は、**意思決定支援**に焦点を当て9月30日に研修会を行います。日頃悩んでいることや困っていることを共有し、情報交換しながら問題解決できればと思っています。

また、看護連携の強化を目的に「介護施設で働く看護師の病院見学」を実施しています。病院見学で学んだことは施設へ戻り看護職、利用者へ還元できるだけでなく介護職への指導にも繋がります。すでに3地区の病院見学を終え、今年度は、下北地区と中弘南黒地区を予定しています。

今後も看護師職能委員会 I 企画の研修・事業等への参加、またはご意見等、よろしくお願ひします。

看護師職能委員会 II では、令和5年8月19日（土）に『看護小規模多機能型居宅介護に関する学習会』を開催します。当日は、日本看護協会 常任理事 田母神裕美氏と看護小規模多機能型居宅介護事業所 在宅看護センター 結の学校 所長 沼崎美津子氏に講演していただきます。皆さま、この機会に看護多機について理解を深めてみませんか。

また、令和5年11月11日（土）に開催する青森県看護学会において、看護師職能委員会 II では、昨年度実施しました、県内の訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム等の介護施設を対象とした「青森県内の介護施設・事業所におけるBCP策定状況に関する実態調査」の結果を報告いたします。

介護事業所に対しては、2021年4月から「BCP（事業継続計画）」の策定が義務化されております。県内介護施設の進捗状況の他、策定において困っていることや事業所別の研修・訓練状況についても報告する予定です。現在策定している施設のご参考になれば幸いです。





## 東青支部

### 支部集會に「かんごちゃん」が参加しました

令和5年5月20日(土)東青支部集會と春の学習會が開催されました。

学習會は、「青森県における医療的ケア児の現状と移行期問題を中心に」と題して青森県立中央病院成育科、青森県小児在宅支援センター長の網塚貴介氏を講師にお招きしました。参加者からは、「現状と移行期問題を知ることができた、課題について理解できた、今後をどうにかしたい」などの声が聞かれ、医療的ケア児に寄り添うネットワークができました。

今後は、情報発信や支援に努めたいと考えています。ぜひ支部活動にご参加下さい。

記：支部長 角田 つね



かんごちゃん 講師の登壇をエスコート！

## 中弘南黒支部

### 支部集會・春の学習會

令和5年5月20日(土)に弘前市民文化交流館で支部集會と春の学習會を開催しました。

学習會は「コーチング・ティーチングって何？～教えるに悩むナースを応援する～」をテーマに弘前医療福祉大学の小玉有子先生にご講演いただきました。コーチングやティーチングの基本、効果的な質問方法など、指導場面での関わり方について学びました。また、参加者同士で意見交換し、有意義な時間となりました。

今年度は7名の役員交代と4名の新役員を加え、活



ただいま コーチング・ティーチング中！

動を行っていきます。看護協会の重点項目に基づいた学習會を企画していきたいと思ひます。

記：幹事 土屋 涼子

## 三八支部

### 春の特別講演會

令和5年5月27日(土)三八支部集會と春の特別講演會を開催しました。「過活動膀胱について」というテーマで、メディカルコート八戸西病院副院長 荻生和徳先生よりご講演いただきました。日頃ケアしている中での困りごとであるため、考え方やアセスメント方法が理解できたなどの声が聞かれ、有意義な時間を過ごすことができました。

ポストコロナ時代となり、新常識の中で変化に対応していく力が試されていると実感しています。役員一



新役員一同

同、看護協会の重点政策に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

記：記録係 二ツ森千佳子



## 西北五支部

### 春の研修会（緩和ケア）

令和5年5月20日（土）つがる市生涯学習交流センター「松の館」にて援助につながる緩和ケア～「わかってくれる人」になる～というテーマでつがる総合病院緩和ケア認定看護師の神梨沙さんを講師に開催されました。2年ぶりの参集での研修会には参加者75名と多くの方に参加していただき関心度の高さがうかがえました。

患者と話すことで患者からの情報を得て、支持・受容・共感を持ってわかってくれる人になること、患者に良いケアを提供するためには、「看護師自身が「良い状態」にあることが重要である」と話されていました。今後も関心度の高い研修会企画に努めていきます。

記：記録係 鈴木 洋子



緩和ケア認定看護師 神梨沙さん講義の場面

## 下北支部

### 看護の魅力再発見♪

令和5年6月3日（土）、令和5年度下北支部集會及び第1回研修会が開催されました。

研修会では、青森県立保健大学健康科学部看護学科准教授 村上眞須美氏を講師に迎え、「看護の魅力再発見」と題し、高校生と看護職のリアルについて対話しました。

あなたが看護職を続けている理由は何でしょう。様々

な角度から、するどい質問をする高校生に対し、どこか誇らしげに、夢中になれる瞬間を語る看護職の顔が印象的でした。

また、高校生からも今後も同様の研修会を企画してほしいと要望があり、将来につながる研修会となりました。

記：広報係 坪田 成美



高校生との熱いトーク



かんごちゃん下北に来たる



講師(中央)と支部長(右)

## 上十三支部

### 支部集會と看護研修会

令和5年5月27日（土）、上十三支部集會と看護研修会を会場参集で開催しました。

支部集會には青森県看護協会・榎谷会長にお越し頂き、今年度の青森県看護協会活動計画についてご説明を頂きました。

看護研修会では、青森県災害時小児周産期リエゾンの橋爪直美氏を講師として迎え、災害支援ナース活動の実際や災害時の母子支援について概論から実践に至る貴重なご講演を頂きました。



榎谷会長と講師を囲んで新旧役員一同

今後は新役員を迎え活動していきますので秋の看護ケア検討会もご期待下さい。

記：前記録係 滝澤 敬子



# ナースセンターだより No.124

## 職員の紹介

今年度から、センター内のレイアウトを変え、新メンバーで活動しています。

求人・求職者ともにWin・Winのマッチングを目指し、ライフスタイルに合った働き方を一緒に考え、看護職のキャリア支援を行います。お気軽にご相談ください。

- ◆相談時間 平日9:00～12:00 13:00～16:00
- ◆相談方法 来所(予約可)または電話・メールにて



中村就業相談員チームリーダー(左)、須藤ナースセンター長(中)、豊木就業相談員(右)

## ナースセンターとは

青森県ナースセンターは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、青森県知事の指定を受けて青森県看護協会が運営し、看護職による無料職業紹介事業や、復職支援事業、働き続けられる環境づくり等、看護職をサポートする様々な事業を行っています。

◆看護職の免許保持者の方が下記①～③の場合、ナースセンターへの届け出が努力義務化されています。

- ①離職した場合 ②看護職業務に従事しない場合 ③免許取得後ただちに就業しない場合

※ナースセンターに届け出・登録していただくことで、復職を希望する方への支援や、ご自身に合う職場の紹介、働き方の提案ができます。(※職業紹介に関する費用・紹介手数料は無料です!) また、長期間離職し、現場復帰を望む方への復職支援研修等も無料で受けられます!  
※インターネットによる無料職業紹介システム『eナースセンター』もご活用下さい!!

詳細は  
ナースセンター  
ホームページで!



## 訪問看護師ブラッシュアップ研修

令和5年6月30日(金)に、訪問看護師の資質向上を目的に、訪問看護師ブラッシュアップ研修を開催しました。青森県立保健大学 副学長・副理事長の角濱春美氏、看護学科准教授 小池祥太郎氏を講師に、「肺炎予防のためのフィジカルアセスメント」について学びました。実際に、聴診器をあててう音を聴くなど実践的な研修になり、参加者からは、ぜひ今後活かしていきたい等満足感の高い声が聞かれました。



研修の様子

## 令和5年度ナースセンター事業

NEW

日本看護協会  
委託事業に採択  
されました

ナースセンターホームページに「看護職求人施設PRコーナー」を設けます。ぜひこの機会に、自施設のPRをして、看護職確保につなげてみませんか!

- 募集期間：8月末まで
- A4 1枚 (1,000～1,500字程度)
- 写真 \*3分程度の動画でも可

### 「地域に必要な看護職確保推進事業」

人口減少、交通アクセス等地域課題を抱えている下北圏域の北通り地域の医療を守るためには、看護職を安定的に確保することが課題です。そこで、潜在看護職の登録制度を構築し、大間病院への短期就労を目指します。事業についての説明会や登録者の病院見学を予定しています。

セカンドキャリアをお考えの方、  
事業に関心のある方は是非ご検討を!



## 今年も開催します 2年目看護職カフェ

### 【昨年度参加者の声】

- ディスカッションが苦手で緊張していたが楽しかった。参加できてよかった。
- 2年目の人達と話すことができ、同じ想いを抱えていることが分かって気持ちが楽になった。参加して良かったです。
- 他の病院について、同期となる人と話す機会があると、悩みも似たものがあり、頑張ろうという気持ちにつながりました。

講師は神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科 教授 吉田穂波氏です。昨年度はリモートでしたが、今回は八戸にお越しいただきます。先生にもとても癒されますよ♡



### 注目

令和5年9月24日(日)に、東京交通会館(東京・有楽町)で「青森県Uターン・交流フェア」が開催されます。「仕事」「暮らし」「住まい」など移住に関する情報を一元的に提供する県主催の移住イベントです。当ナースセンターも参加します。首都圏在住の方がいましたら、ぜひお声がけください。

## 令和5年度看護職の需要及び離職状況調査結果について

速報

今年度の「看護職の需要及び離職状況調査(病院)」について抜粋してお知らせいたします。

看護職の離職(正規雇用) [調査対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日]  
[回収状況：配布数 90、回収数 69施設、回収率 76.7%]

### 退職数と離職率

調査した年度	看護職員数	退職者数	離職率	新卒		
				採用者数	離職者数	離職率
R5	8,558	642	7.5	351	26	7.4
R4	8,336	623	7.5	319	36	11.3
R3	8,225	569	6.9	316	18	5.7

### 回答した病院の病床数

病床数	施設数	%
99以下	23	33.3
100～199	23	33.3
200～299	11	15.9
300～399	5	7.2
400～499	4	5.8
500以上	3	4.3
計	69	100

全体の離職率は昨年度と同じく7.5%であり、新卒の離職率は昨年度よりも減少しています。

離職する理由の上位5つをみると以下の通りでした。昨年度に引き続き、精神的理由による離職が上位に位置しています。

精神的理由による病気休暇の取得率にも今後注視していきたいと思います。

全国的にも新卒看護職の離職率は上昇傾向にあり、引き続き離職防止対策を講じる必要があると考えられます。

### 退職理由(新卒全体)

項目	R5年度(回答数39)		R4年度(回答数46)	
	人数	割合	人数	割合
他の病院・職場への興味(看護職として)	11人	28.2%	7人	15.2%
進学・研修・留学	7人	17.9%	3人	6.5%
自分の健康(精神的理由)	6人	15.4%	16人	34.8%
自分の適性・能力への不安	4人	10.3%	5人	10.9%
責任の重さ・医療事故への不安	2人	5.1%		

### ★病床規模別の新卒離職理由

病床数	離職者数	主な理由
99床以下	1	他の病院・職場への興味(看護職として)
100～199床	6	他の病院・職場への興味(看護職として)
200～299床	3	他の病院・職場への興味(看護職として)、人間関係(上司)、精神的理由
300～399床	2	自分の適性・能力への不安、進学・研修
400～499床	1	他の病院・職場への興味(看護職として)、精神的理由
500床以上	13	他の病院・職場への興味(看護職として)、精神的理由

### 看護職員の休暇取得状況(正規雇用)

調査した年度	産前・産後を取得した看護職員数	育児休暇を取得した看護職員数	育児休暇を取得した男性看護職員数	育児のための短時間制度を利用した看護職員数	介護休暇取得看護職員数	病気休暇取得看護職員数	(再掲)精神的理由
1 R5	418	395	26	233	67	286	122
2 R4	417	369	29	234	56	275	115



## 厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます

優良看護職員厚生労働大臣表彰に当協会から推薦した吉田あや子様を受賞されました。

6月15日(木)に青森県看護協会にて、表彰状の授与を執り行い、当協会から花束を贈呈いたしました。



表彰状を手に



榎谷会長から花束贈呈

## 令和5年 春の叙勲 受章者のご紹介

春の叙勲を受章された県内看護職のお二人をご紹介します。

### 瑞宝単光章 [看護業務功労]

元 青森県立さわらび医療療育センター主幹看護師  
小山内 敬子氏

### 瑞宝単光章 [看護業務功労]

元 弘前大学医学部附属病院看護部副看護部長  
工藤 順子氏



## 青森県から感謝状を授与されました

5月8日(月)に、青森県庁で行われた青森県新型コロナウイルス感染症対策功労者への知事感謝状贈呈式に当協会 榎谷会長が出席し、功労者対象団体の代表の一人として感謝状を授与されました。



三村前県知事から感謝状を授与される榎谷会長



功労団体代表のみなさんと知事を囲んで

ニプロ医療機器データ連携サポートシステム  
**HN LINE**  
Hospital Network Line

携帯情報端末 データ連携 電子カルテ

血糖管理 | バイタル管理 | 輸液管理 | 連続見守り

血糖 | SpO<sub>2</sub>呼吸数 | 体温 | 血圧脈拍 | 輸液ポンプ | シリンジポンプ | 心拍心電波形

この広告に関しての  
お問い合わせ先 資料請求先 **ニプロ株式会社** 大阪府摂津市千早丘新町3番26号  
2023年5月作成

東洋羽毛  
**睡眠セミナー無料サービスのご案内**

よく眠った人には、かなわない。

**睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします**

東洋羽毛では、「睡眠健康指士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。  
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。\*  
\*オンラインセミナーの開催も承ります。

【お役に立てる主な研修】  
医療安全対策研修  
学校保健委員会  
高齢者の睡眠ケア

\*他、施設内研修などご相談承ります(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

**東洋羽毛北部販売株式会社 青森営業所**  
〒030-0121 青森市妙見1丁目5-10 ☎ **0120-389553**

50<sup>th</sup> Anniversary  
創立50周年  
株式会社日本看護協会出版会

いつも“看護”とともに。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル4F  
TEL: 03-5778-5712 <https://www.jnpsc.co.jp>

**仕事をしながらマイペースで学べます!**  
BS放送やインターネット等、オンラインで学ぶ

**看護師の特定行為研修  
共通科目(講義・演習部分)全科目開講中!!**  
~省令改正後の新基準にも対応~

放送大学は正規の通信制大学です。入学は、4月と10月の年2回。看護師・准看護師のみなさんのキャリアアップを応援します。

まずは、資料をご請求ください。 [放送大学]

自分なりの解が見つかる大学。  
10月入学予定中

青森学習センター TEL 0172-38-0500  
八戸サテライトスペース TEL 0178-70-1663